

シンポジウムの趣旨

○解決すべき課題・ニーズが多数存在

課題解決型事業では、これまでに89件の実証事業を採択。
一方で、まだ解決されていない分野の課題・ニーズが数多く存在。
医療現場のニーズを蓄積した「医療機器アイデアボックス」を開設。
現在、225件のニーズ（9/30現在）が登録。

○対面での情報交換の場が重要

データベース上のマッチングだけでは情報が不足。
マッチングを促進するためにも、対面での情報交換が重要。
「医療機器アイデアボックス」登録ニーズの中から希望者を募り発表。
14件については、プレゼンテーションの時間を確保。

○マッチングの多様性に対応

産学連携機関等のコーディネーターによるニーズ登録を開始。
「開発フェーズのニーズ」と「製品化フェーズのニーズ」に分類。
開発企業だけでなく、コーディネーターや製販事業者、販売事業者とのマッチングも実施。

シンポジウムの進め方

○前年度マッチング事例のこれまでの取組と現状報告

○医療現場のニーズ発表 パート1：開発フェーズ

前半：5件 & 有識者よりコメント

後半：5件 & 有識者よりコメント

□休憩（15：00～15：20）※ポスター展示はここまで

○医療現場のニーズ発表 パート2：製品化フェーズ

発表：4件 & 有識者よりコメント

○シンポジウム後のマッチングの進め方について説明

○全体講評